



2006年6月に強制移住となり、現在は、プノンペン市内から車で約1時間のところに住んでいます。

MAKE THE HEAVEN が支援しているのは、サッカーとヒヤップが30人の子どもたちの面倒をみている場所です。



子どもたちは、カンボジアの伝統舞踊の練習をしていて（最近はDJダンスの練習も始めました）、時々工場や他の場所で踊って、自分たちの生活費を稼いでいます。でも、それだけでは生活することが難しいので、お米などの食糧支援を毎月行っています。



また、子どもたちが生活している場所で、寺子屋も行っており、その運営の支援も行っています。

学校に通うことの出来ない子どもたちにキエン先生とワッター先生が、クメール語を教えたり、英語を教えたりしています。2人ともとても頑張っています。



そして、週2回、日本人の先生がボランティアで日本語も教えています。

「こんにちは!!!お元気ですか?」と、いつも元気一杯に子どもたちは挨拶してくれます。

ここに来る前は、靴磨きをしていたり、ごみを拾っていたりとストリートチルドレンの子どもたちもいました。でも、その子どもたちを、ヒヤップが「ここでみんなで生活しよう。」って連れてきたのです。

いろんな理由がある子どもたち。でも、今は、キラキラの笑顔で毎日生活しています。今を、一生懸命生きています。みんなで助け合って生活しています。

